



Imagine Your Happiness

あなたのあしたを想う

参天製薬株式会社

第109期 株主通信

2020年4月1日 ▶ 2021年3月31日 証券コード：4536



Imagine Your Happiness

あなたのあしたを想う



代表取締役社長兼CEO 谷内 樹生

基本理念

天機に参加する

自然の神秘を解明して人々の健康の増進に貢献するということを意味しています*。

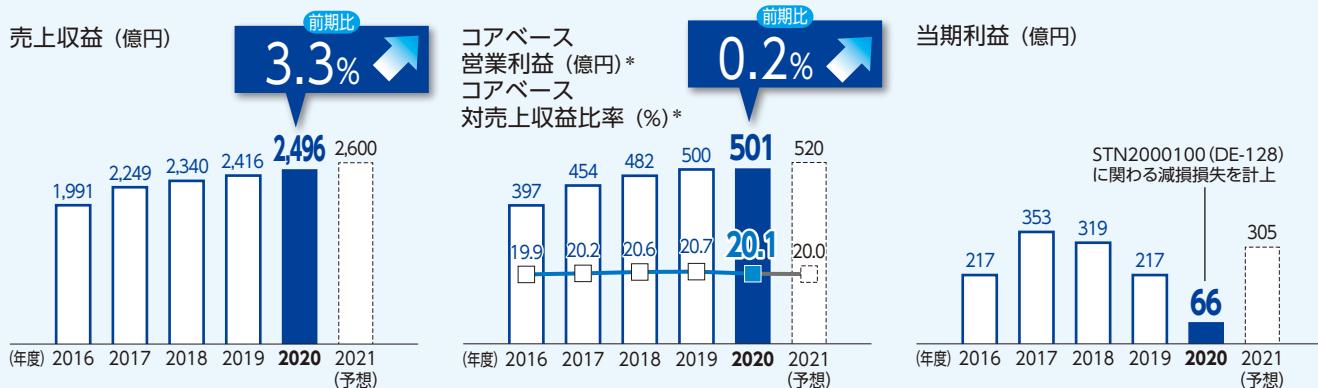
* 中国の古典「中庸」の一節をSantenが独自に解釈したもので、社名「参天」の由来でもあります。

WORLD VISION

Happiness with Vision

世界中の一人ひとりが、「見る」を通じた体験により、それぞれの最も幸福な人生を実現する世界を創り出したい。

連結財務ハイライト



* IFRSベースから一部の収益・費用（製品に係る無形資産償却費、その他の収益、その他の費用、金融収益、金融費用）を控除した、コアベース（経常的な業績を示す）による数値です。

世界的な新型コロナウイルス感染症の影響下においても、増収を達成

2020年度に続き2021年度も売上成長を目指し、利益も確保

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2020年度におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、ニューノーマルに対応した活動により、日本、アジアおよび EMEA（ヨーロッパ、中東およびアフリカ）でシェアを拡大し、市場の伸びを上回り成長しました。中国においては、政府が導入した医薬品の入札制度である集中購買制度の影響を受けシェア拡大は果たせなかったものの、日本、中国、アジア、EMEA、米州、全地域で増収を達成し、売上収益は2,496億5百万円（対前期3.3%の増収）、本業での実力を示すコア営業利益は501億1百万円（同0.2%の増益）となりました。なお、IFRS（フル）ベースでの当期利益は、2021年度上期を想

定していた緑内障手術用デバイスSTN2000100（DE-128）の米国における承認時期の遅延を前提に無形資産の減損損失を計上したことから、66億4千5百万円（同69.4%の減益）となりました。

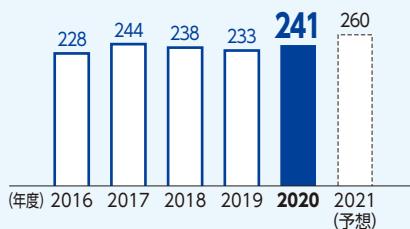
中国では、集中購買制度の影響を受けない私立病院などの販売チャネルや、新製品の拡販に活動の中心を移しており、成長基調に戻りつつあります。また、米国におけるSTN2000100（DE-128）の開発についても、より早期に承認を担保すべく、緑内障手術デバイス分野におけるリーディングカンパニーであるGlaukos社との契約を拡大し、米州およびオーストラリア、ニュージーランドでの製品開発、商業化および販売の権利を供与することとしました。

2021年度におきましては、日本事業が薬価改定の影響を受けるものの堅調に推移、海外事業は

ROE (%)



研究開発費 (億円)



1株当たり配当金 (円)
配当性向 (%)



既存地域での成長に加え、2020年度に買収したEyevance社が米国での売上を押し上げることで、売上収益は対前期4.2%増の2,600億円を予想しています。一方でコア営業利益は、同3.8%増の520億円を予想しています。将来成長のための資源投下の継続と、費用コントロールの強化による経常的費用支出の抑制の両立をはかることで、持続的な利益成長を目指します。

なお、2月に発表しました単独株式移転による持株会社体制への移行、および決算期（事業年度の末日）の変更に関しては、中期経営計画の確実な立ち上げと各種施策の遂行に集中するため、延期することといたしました。変更時期は現在未定ですが、今後方針を決定しましたらお知らせいたします。

基盤事業の収益力強化と新規領域参入により、 中長期での成長を実現

2020年度は、中期経営計画「MTP2020」の最終年度であると同時に、2011年からの10年間の長期ビジョン「Vision 2020」の最終年度でもありました。この10年間で売上収益、営業利益*、展開国・地域数が約2倍となり、策定当初の想定を上回る成長を遂げることができました。

新たな中期経営計画「MTP2025」期間（5年間）では、Santenの基盤事業であり、多くの強みを持つ医薬品事業においてグローバルでの地位を確固たるものにするとともに、収益力の強化を図ります。日本では主力製品であるアレジオン、ジクアスやタプロスの新しい製剤や点眼方式に取り組むとともに、日本・アジアでの開発・販売権を獲得した緑内障開発品（Rhopressa、Rocklatan）の開発も推進してまいります。また米国で前眼部製品の販売を手掛けるEyevance

社は、北米事業の中核として売上の拡大を目指します。基盤事業の強化と並行し、2026年度以降の成長ドライバーを育てるべく、新しい領域への挑戦も始めています。網膜色素変性症に対する細胞治療薬候補jCellや、眼瞼下垂に対する治療薬STN1013800を導入し、開発を進めています。また、次世代の近視進行抑制薬候補STN1013400の臨床試験を、他社に先駆け開始する予定です。2030年とその先に向けた長期ビジョン「Santen 2030」の実現に向けて、この5年間で真のグローバル眼科医療用医薬品企業への変革を図ってまいります。

前年度から4円増配の、年間32円の配当を予定

私どもは、企業価値向上に向けて、将来成長とのバランスをとりながら積極的に株主還元を実施してまいります。創出したキャッシュについては、営業キャッシュ・フローの1/3以上を配当および自社株買いに充てる方針です。配当性向40%以上を確保し、中長期的な成長と企業価値向上に資する戦略投資を財務規律に基づき厳選して実施します。余資が生じた場合は自社株買いにより機動的に還元してまいります。2021年度においては、中間配当16円、期末配当16円の計32円、前年度から4円増配を予定しています。

これからも、基本理念に基づき、世界中の患者さんや眼科医から必要とされる製品・サービスの提供を通じ、眼科に特化した企業として世界中の眼科医療に貢献し、持続的な成長を目指してまいります。株主の皆さまには、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

* コアベース。2010年度の営業利益からマイルストーン収入を除外し計算。

開発状況（臨床段階）

■ 緑内障領域 ■ 角結膜疾患領域 ■ 網膜・ぶどう膜炎疾患領域 ■ その他疾患領域

2021年4月時点

開発コード	一般名	効能・効果	地域	臨床試験*			申請	承認	発売
				フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3			
STN1011101 / DE-111A	タフルプロスト/チモロールマレイン酸塩	緑内障・高眼圧症	中国	■	■	■			
			米国	■	■	■	2020年11月		
STN1011700 / DE-117	オミデネバグ イソプロピル	緑内障・高眼圧症	日本	■	■	■			2018年11月
			アジア	■	■	■			2021年2月
STN1012600 / DE-126	sepetaprost	緑内障・高眼圧症	米国	■	■	■			
			日本	■	■	■	フェーズ2b		
STN2000100 / DE-128	緑内障用デバイス	緑内障	米国	■	■	■			2020年6月
			欧州	■	■	■			2019年4月
			アジア	■	■	■			2020年3月
			その他	■	■	■			2021年3月
STN1013001 / DE-130A (Catioprost)	ラタノプロスト	緑内障・高眼圧症	欧州	■	■	■			
			アジア	■	■	■			
STN1013900 / AR-13324	netarsudil dimesylate	緑内障・高眼圧症	日本	■	■	■			
STN1008903 / DE-089C	ジクアホソルナトリウム	ドライアイ	日本	■	■	■			
STN1010900 / DE-109	シロリムス	ぶどう膜炎	米国	■	■	■			
			日本	■	■	■			
			欧州	■	■	■			
			アジア	■	■	■			2015年4月
STN1012700 / DE-127	アトロピン硫酸塩	近視	日本	■	■	■	フェーズ2/3		
			アジア	■	■	■			
MD-16	眼内レンズ	白内障	日本	■	■	■			2020年11月

*臨床試験：フェーズ1からフェーズ3までの3段階で実施されます。フェーズ1では、少数の健康な志願者を対象に安全性を確認します。続くフェーズ2では、少数の患者さんを対象に適切な投与量や投与方法を検討・確認します。最後のフェーズ3では、多数の患者さんを対象に安全性・有効性を検証します。

2030年、そしてその先へ



新中期経営計画MTP2025を策定

真のグローバル眼科医薬品企業への変革

**MTP
2025**

目の疾患や不具合を抱える人々、医療従事者のニーズに応え、社会課題を解決することで社会の持続的発展に貢献する。これにより中期的な企業価値向上を目指す。

基盤事業の利益率向上

- 量拡大から質向上への転換による既存地域での利益最大化

新規領域の拡大

- 米国の収益体制確立
- 新規事業・新規領域*などへの参入

グローバル企業としての土台の強化

- 製品開発能力/製品供給基盤の強化
- KPIIに基づく事業管理

* 将来の成長分野である細胞・遺伝子治療技術、自由診療市場向け製品ならびにデジタルヘルス領域

Santen 2030

Santen's VISION : Santenのありたい姿

Become A Social Innovator

Santenは、世界中の技術や組織・人材をつなぎ、
社会にイノベーションをもたらすことで、
「見る」を通じた人々の幸せを実現する。

戦 略

眼科医療への
貢献

Ophthalmology

健康な目の
追求

Wellness

共生社会の
実現

Inclusion

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
基準日 定時株主総会 3月31日

期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

単元株式数 100株
公告方法

電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

公告掲載URL : <https://www.santen.co.jp/jp/pn>

証券コード 4536

上場証券取引所 東京証券取引所

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

〒541-8502

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

TEL : 0120-094-777

会社概要 (2021年3月31日現在)

社名 参天製薬株式会社
本社 〒530-8552
大阪市北区大深町4番20号
創業 1890年
設立 1925年
資本金 8,525百万円
工場 能登、滋賀、他
研究所 奈良研究開発センター、他
従業員数 4,229名 (連結)

参天製薬株式会社



FSC® 認証紙と植物油
インキを使用しています。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

株式に関するお手続き等について

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行の本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

お問い合わせ先

参天製薬株式会社
企画本部IR室

〒530-8552 大阪市北区大深町4番20号

TEL : 06-7664-8621 (代表)

Email : ir@santen.com

URL : <https://www.santen.co.jp>

表紙の写真について：私たちSantenは、長期ビジョンSanten 2030で、3つの戦略「眼科医療への貢献」「健康な目の追求」「共生社会の実現」を掲げています。このうち、「共生社会」のイメージとして視覚障がいのあるランナーとその伴走者の姿を写したものです。私たちは、視覚障がいの有無に関わらず交じり合い・いきいきと共生する社会の実現を目指します。